

認定認知症領域検査技師制度 指定カリキュラム		
大区分	中・小区分	
認知症の概念	認知症の定義	
	認知症の概要	
	認知症の疫学	
認知症の症候学	認知機能症状(中核症状)	
	記憶障害、見当識障害、失語、失行、失認、実行機能障害 など	
	行動・心理症状(BPSD) 暴力、徘徊、抑うつ、不安、幻覚、妄想 など	
認知症の病態	アルツハイマー型認知症	
	血管性認知症	
	レビー小体型認知症	
	前頭側頭型認知症	
	その他の認知症	
軽度認知障害(MCI)の概念	MCIの概要	
	MCIを診断する意義	
認知症の検査	(1)神経心理学的検査(認知症の評価尺度) MMSE、HDS-R、ADAS、SIB、CDT、CDR、NPI などの特徴	
	(2)画像検査 CT、MRI(検査の注意事項、各種認知症での特徴、VSRAD) 心筋シンチ、DATスキャン(レビー小体型認知症での特徴) 脳血流SPECT(各種認知症での特徴) PET(アミロイドイメージング、タウイメージング)	
	(3)脳脊髄液検査 所見(性状、細胞数、蛋白、糖、Cl など) アミロイドβ蛋白(各種認知症での特徴) タウ蛋白(各種認知症での特徴、リン酸化タウ蛋白)	
	(4)血液検査 血糖、甲状腺ホルモン、ビタミン、葉酸、ホモシステイン、 梅毒、HIV、脂質 など	
	(5)神経生理学的検査 脳波(検査の注意事項、波形の評価 など) 事象関連電位(P300 など)	
	(6)血管検査、循環器検査 超音波検査(頸部血管、頭蓋内血管、FMD) 脈波検査(PWV など) 心電図	
	(7)NIRS検査 原理、検査方法、作業課題	
	(8)嗅覚検査 検査法、病態との関連	
	(9)睡眠検査 睡眠ポリグラフィ など	
	認知症の治療	アルツハイマー型認知症への抗認知症薬 ドネペジル、ガランタミン、リバスチグミン、メマンチン
		血管性認知症の薬物療法
		レビー小体型認知症の薬物療法
		治療可能な認知症の治療
		BPSDに対する薬物療法、非薬物療法
	認知症の予防	認知症予防の概念(一次予防、二次予防、三次予防)
		認知症の危険因子
		認知症の予防法とその効果 運動療法、食事療法、認知症予防教室、睡眠衛生指導 など
	認知症のケア	パーソンセンタードケアの概念
		認知症別ケアの概要
		検査時のケア
		社会環境、社会資源、倫理的配慮

## 【参考資料】

認知症予防専門士テキストブック 改訂版(徳間書店)  
 認知症予防のための検査特集(医学検査2017 J-STAGE-2号)  
 日臨技主催の講習会・講座・セミナーの資料  
 NI-G 認定認知症領域検査技師eラーニング